

水質検査成績書

東頭発第 TW-170315-9090 号

平成 29 年 03 月 23 日

厚生労働大臣登録機関(登録番号第98号)

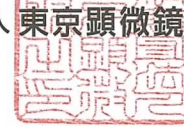
東京都中央区豊海町5-1

危機管理室防災課

殿



一般財団法人 東京顕微鏡院



水質試験の結果を下記のとおりご報告いたします。

記

| | | | |
|-------------------|---|----------------|--------------------------------|
| 採水場所 | 大泉名水会(2号・3号井戸混合処理水) | | |
| | 東京都練馬区東大泉3-38-13 | | |
| 検査受付日 | 平成29年03月15日 | 採水年月日 | 平成29年03月15日 9時55分 |
| 種別 | 専用水道水 | | |
| 水温/気温 | 15.5℃ / 5.5℃ | 残留塩素濃度 | 0.3mg/L |
| 検査項目 | 結 果 (単位) | 基準値 (定量下限値) | 検査方法 (別表番号) |
| 一般細菌 | 0 (個/mL) | 100以下 (0) | 標準寒天培地法(別表第1) |
| 大腸菌 | 検出せず | 検出されないこと (-) | 特定酵素基質培地法(別表第2) |
| 塩化物イオン | 12.2 (mg/L) | 200以下 (0.2) | IC法(別表第13) |
| 有機物(全有機炭素(TOC)の量) | 0.3未満 (mg/L) | 3以下 (0.3) | TOC計測定法(別表第30) |
| pH値 | 7.4 | 5.8~8.6 (-) | 連続自動測定機器によるガラス電極法(別表第32) |
| 味 | 異常なし | 異常でないこと (-) | 官能法(別表第33) |
| 臭気 | 異常なし | 異常でないこと (-) | 官能法(別表第34) |
| 色度 | 1未満 (度) | 5以下 (1) | 透過光測定法(別表第36) |
| 濁度 | 0.1未満 (度) | 2以下 (0.1) | 積分球式光電光度法(別表第41) |
| 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | (mg/L) | 10以下 (0.1) | IC法(別表第13) |
| 亜硝酸態窒素 | (mg/L) | 0.04以下 (0.004) | IC法(別表第13) |
| 蒸発残留物 | (mg/L) | 500以下 (1) | 重量法(別表第23) |
| 鉄及びその化合物 | (mg/L) | 0.3以下 (0.03) | ICP-MS法(別表第6) |
| 亜鉛及びその化合物 | (mg/L) | 1.0以下 (0.01) | ICP-MS法(別表第6) |
| 鉛及びその化合物 | (mg/L) | 0.01以下 (0.001) | ICP-MS法(別表第6) |
| 銅及びその化合物 | (mg/L) | 1.0以下 (0.01) | ICP-MS法(別表第6) |
| 検査責任者 | 水質検査部門管理者 加藤 文秋 | 判定 | 上記水質項目については、水質基準に 適合 |
| 検査方法 基準値 | 平成15年7月22日厚生労働省告示第261号に基づく (別表番号とは厚生労働省告示第261号に示す検査法) 水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令第101号) | | |
| 備考 | 特記事項なし | | |
| 注 | 結果欄の「.....」は検査対象外です。 | | |

測定結果報告書

東頭発第 TH-170315-1067号

平成 29 年 03 月 23 日

危機管理防災課 殿

平成 29 年 03 月 15 日 当科学センターに依頼された放射性物質の測定結果について
下記のとおりであることを報告致します。

厚生労働大臣登録検査機関
一般財団法人 東京顕微鏡院
食と環境の科学センター
東京都中央区豊海町5-1

記

試料名称 : 防災井戸

試料に関する付帯事項 :

施設名:大泉名水会(2号・3号井戸混合処理水)

試料採取日時:平成29年03月15日 09時55分

測定日:平成29年03月16日

試料採取者:一般財団法人東京顕微鏡院

測定結果 :

| 測定項目 | 測定結果 | 検出下限値 | 単位 |
|---------|-------------------|-------|---------|
| 放射性セシウム | ^{134}Cs | 不検出 | 1 Bq/kg |
| | ^{137}Cs | 不検出 | 1 Bq/kg |
| | 合計 | — | — Bq/kg |

試験方法:食安発0315第4号(平成24年3月15日)

厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知 「食品中の放射性物質の試験方法について」
(別添)「食品中の放射性セシウム検査法」

測定方法:ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメータによる核種分析法
(Canberra MODEL GC3018)

(参考)

食品中の放射性セシウム基準値

| 核種 | 食品群 | 基準値 | 単位 |
|---------|-------|-----|-------|
| 放射性セシウム | 飲料水 | 10 | Bq/kg |
| | 牛乳 | 50 | Bq/kg |
| | 乳児用食品 | 50 | Bq/kg |
| | 一般食品 | 100 | Bq/kg |

- 乳製品は一般食品に含まれます。
- 乳児の年齢については、児童福祉法等に準じて「1歳未満」をその対象とします。